

彦糸中だより

ベストな環境でチャレンジ!

学校教育目標
磨き合う
学ぶ糸中 心の糸中 鍛える糸中

生徒数
1年 78名
2年 68名
3年 27名

三郷市立彦糸中学校だより
令和2年11月号
三郷市彦成3-14-4
TEL. 048(957)1215

生活行動目標

- 授業に集中しよう。
- 風邪をひかない強いからだをつくって
いこう。

『鬼滅』人気から感じたこと

教務主任 小林 勇介

『鬼滅の刃』の人気が止まらない。公開から3日間で興収46億円(動員342万人)という空前の「初週興収歴代1位」という記録をたたき出すと、公開10日目には史上最速で100億円を突破したようだ。職員室でも、「私も見た!」「娘が見に行ったら感動していた!」「おれも行こうかな〜。」反響は大きい。

このただならぬ人気、以前から薄々は感じていた。英語の授業で好きな漫画を質問すれば、以前はどの生徒も「ワンピース!」。しかし、ここ最近『鬼滅』シェアが圧倒的。

「これはまずい。タイトルこそ知っているものの、内容知識はゼロ。」「よし、自分も『鬼滅』を読まない、生徒の会話についていけない。」と使命感を持ち本屋に行くも、何と1巻から売り切れ。心を折られ、そのまま帰宅。(休校中の話。未だに未購入。お恥ずかしい…)

思えば、「漫画」はどの時代も大きな影響を与えている。私の小・中学校時代は何といっても、ドラゴンボール、スラムダンク、そして、大人になってからはワンピースにハマってしまった。とりわけスラムダンクは、約25年が経過する今でも心に残る言葉は多い。「あきらめたら、そこで試合終了ですよ。」「安西先生、バスケがしたいです…」「お前のためにチームがあるんじゃない。チームのためにお前がいるんだ!!」私だけではなく、これらを人生の学びとして心に留めている人もいるはずだ。漫画から学ぶことは多い。(ある寺の住職は、数々の漫画の名言を本堂に掲示しているほど。)

再び、職員室の会話に耳を傾ける。「昔、息子の漫画を読んで泣いてたら、どうしてここで泣くの?と息子に笑われたよ。」と、事務さんが言う。「私、子どもより本気でマンガ読んでやうんですよ!」と、さわやか相談員さんが続く。ふと、昔の小林家を思い出す。父親は、釣りバカ日誌や課長・島耕作を読んでいる姿があった。どんな漫画なのかのぞき見するが、当時の私には全くもって理解不能。(現在の私の趣味に釣りがあつた。釣りバカ日誌の影響か…?)しかし、どれだけ思い返してみても母親が漫画を読んでいる姿が浮かんでこない。「ねえ、この漫画知ってる?」「ねえ、この漫画のここおもしろいんだよ。学校でも人気があるんだよ。」と共感を求めるが、「知ってるよお。」「そうなんだあ。」の気のない返事。「絶対、興味ないよなあ。」子どもは見破る。子どもながらに、少し悲しかったのを思い出すのと同時に、事務さんやさわやか相談員さんの母親像や家庭が少しうらやましくもなる。漫画は、家庭に会話を生み出し、親子をつなぐ架け橋にもなることに気付く。

最後にシルバーさんに聞く。「子どもの漫画本を読んだことありましたか?」「そんなん忙しくてそれどころじゃないよ!!」と、一喝される。「確かに…。」小林家の母親も男3人兄弟の子育てでそれどころではなかったに違いない。私も現在、人の親。状況は想像できる。今度、改めて、母親と「漫画」を通して会話をしてみようと思う。

文化芸術公演会 講談

14日(水)、本校体育館において、令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業」による「講談」が行われました。

講談師の神田鯉栄さん(真打)、落語家の三笑亭可風さん(真打)など、多くの方々がおいでくださいました。間近でプロの講談師や噺家の方の芸を見聞きして、感じるものが多くあったことと思います。

彦糸中からも、学年を代表して3人の生徒が講談を披露しました。1年生 彦糸亭彦兵衛(鈴木峻真君)は、一休さんの「はし」を、2年生 神田海斗(木内海斗君)は、毛利元就の「3本の矢」を、3年生 神田家越太(エッタ ダワー君)は、「山内一豊の妻」を見事に演じきりました。

本来ですと、公演を行うにあたり、事前に真打の神田鯉栄さんらにおいていただき、ワークショップを開いて御指導いただくはずだったのですが、新型コロナウイルス感染症対策のため、実施することができませんでした。代表の3人は、あらかじめお送りいただいたDVDをもとに練習を重ねました。3人の努力は並大抵ではなかったと思います。立派にやり遂げました。



日	曜	11月の行事予定	
1	日	彩の国教育の日	
2	月	三者面談(3年生) 二者面談(1, 2年生)	
3	火	文化の日	
4	水		(面談期間中)
5	木		4時間
6	金		↓ 授業)
7	土	土曜授業日	
8	日		
9	月	全校集会	
10	火		
11	水	あいさつ運動(彦糸小)	
12	木		
13	金	前日準備	
14	土	40周年記念式典	
15	日		
16	月	振替休日	
17	火	総合健診(1年)	45×6時間授業
18	水	あいさつ運動(彦郷小)	生徒評議委員会
19	木	ハイパーカゴスタ	
20	金	期末テスト(3年生)	専門委員会
21	土	期末テスト(3年生)	諸活動停止期間
22	日		
23	月	勤労感謝の日	
24	火	火1~火4+月5の授業(5時間授業)	
25	水	あいさつ運動(糸中)	食育指導(2-1)
26	木	期末テスト(1, 2年生)	食育指導(2-2)
27	金	期末テスト(1, 2年生)	
28	土		
29	日		
30	月		

【12月】
5日(土)、19日(土) 土曜授業日
10日(木) 保護者会(人権講演会) 1・2年
11日(金) 保護者会(進路セミナー) 3年
12日(土) 資源回収日
22日(金) 給食終了 24日(木) 終業式

市内駅伝大会 よく頑張りました!

22日(木)、三郷公園で市内駅伝大会が行われました。10月から練習を重ね本番に臨みました。男女ともに5位でした。

陸上部顧問の佐々木先生、体育科の柏先生、松尾先生、そして当日の大会を間近で応援した校長先生からも選手のみなさんの一生懸命に頑張る姿、温かい声援を送る姿に胸を打たれたとのことでした。選抜メンバーのみなさんをご紹介します。

男子：志賀春耀、遠藤翔太、関根尚人、河合陽向、坂上壮治朗(以上1年)、八重樫瑛人、菅田陸、原野天(以上2年)、新井大翔(3年)
女子：関根莉々亜、三國華穂、小林真麻、田中千尋(以上1年)、白井苺花、栗田蘭、市川美衣(以上2年)、片岡明日香(3年)



JOCオリンピック教室(2年生)

1日(木)、2012年オリンピックロンドン大会、体操団体の銀メダリスト「田中和仁(たなかかずひと)選手」が彦糸中学校においでくださいました。2年生のクラスごとに、体育館での実技指導、そして教室での授業をしてくださいました。本物のオリンピック銀メダルにも触れることのできた生徒のみなさんは幸せでした。

授業では、家族のみんなへの感謝の気持ちを大切にということなどをお話いただきました。



陸上部三輪君 県大会8位入賞

陸上部の県大会が、9日(金)、雨の中、熊谷市スポーツ文化公園陸上競技場で行われました。1年生の三輪駿太君が、100mで8位に入賞しました。写真は4x100mRに出場した選手の皆さんです。左から宮里紀良(1年)、百瀬海里(2年)、川島諒大(2年)、三輪駿太(1年)



生徒会本部役員始動!

12日(月)、生徒会役員選挙が実施され、会長・副会長・役員あわせて8名が選ばれました。

生徒会長：工藤 悠(2-1)
副会長：新井結友(2-2)
レートランホアンミン(1-1)
役員：川満妃莉(2-1)
栗田 蘭(2-2)
関根尚人(1-1)
伊藤和波(1-2)
佐藤優斗(1-2)

今まで本部役員だった河原井さん、対馬さん、森下さん、湯浅さん、ありがとうございました。工藤さん、新井さん、川満さん、栗田さん、引き続きお願いします。



ふくし出前講座 福祉体験(1年生)

28日(水)、三郷市社会福祉協議会の小倉大空さん、秋谷洸さんにおいでいただき、ふくし出前講座をしていただきました。「ふくしとは何か」から講義が始まりました。

講義のあとは、クラスごとに分かれて、車いす体験学習と、ユニバーサルデザインの製品について学びました。車いすも、実際に動かすことは難しいことを体験を通して実感することができました。お札の大きさも、微妙に違ったり、工夫されていることを知ることができました。「福祉」について学ぶよい機会となりました。



異校種授業研究会 小林先生の英語の授業

27日(火)、本校を会場にして異校種授業研究会が行われました。三郷市内から小学校の5年次の先生が16名みえました。英語科の小林先生がALTのロシェル先生といっしょに、2年1組の生徒のみなさんと授業を展開しました。

楽しい雰囲気の中で、オールイングリッシュの授業が50分間行われました。

こんな英語の授業を受けることができれば、英語が好きになって得意になる生徒がふえるだろうなあと思いました。



学校選択制の説明会

学校選択制の説明会が2日(金)と、10日(土)に行われました。平日の午後であったり、雨が降ったりしておりましたが、多くの小学6年生の保護者の皆様がおいでくださいました。彦糸中学校への関心の高さを知ることができました。来春、多くの新入生が彦糸中学校の正門をくぐってくれればと思います。



ギリシャの中学生とのテレビ電話交流(2年生)



6日(火)、2年生の代表生徒がギリシャの中学生とのテレビ電話交流に臨みました。お互いの中学校生活について、交流しました。

代表生徒を紹介します。マリクナビード、山本アリーム、駒寄優里、島袋あきらの4名です。

彩の国教育週間(11月7日まで)



11月1日は「彩の国教育の日」及び11月1日～7日まで「彩の国教育週間」となっております。

期間中は、県や市町村、学校、社会教育施設、各種団体等で、いろいろな事業を行っております。ぜひ御参加ください。

詳しくは県のホームページをご覧ください。

11月は「いじめ撲滅強調月間」です

いじめられた子供には心身に深刻な被害が生じることがあります。いじめは重大な人権侵害であり、決して許されることではありません。

埼玉県は、11月を「いじめ撲滅強調月間」に制定し、いじめ問題根絶に集中的に取り組んでいます。

いじめを受けていたり、いじめに気が付いたりしたら一人で悩まず相談・通報してください。

○よい子の電話教育相談(埼玉県立総合教育センター)

(毎日24時間) 18歳以下の子供用

無料 #7300 又は0120-86-3192

